



第45号

行所馬場
水沢区竜ヶ窓会
水沢高校同窓会
☎0197-24-3151

昨年11月、私達19回生（昭和42年卒）は卒業から50年の区切りの同窓会を企画したところ各地から114人の参加があり、まずは希望者の学校見学から始まりました。学校では片岡副校長から最近の状況



同窓会長 長野耕定

の説明をして頂き、その後模試をしている三年生以外は教室に入つてもよいとのことで自由に見学をすることができました。平屋だった当時も中庭？はありましたが、現在はよく手入れがしてあって合唱・演奏など行事に利用しやすい環境ができてあります。キャンパスそのものでした。その後の懇親会では参加者全員が主役、二次会を含め四時間も語り合いました。

振り返ればいろいろな事があつた高校時代。入学早々、小学校の時から使つていた肩掛けの布製のカバンを長く下げ、今では説明しようのない足駄（あしだ）をはいて登校、校門を入つたところで先輩達いた関係か事なきを得たが、以後クツを履いての登校となつたこと。また数学の時間、最前列の真ん中の席で隣の秀才に「先生間違つているな」と声をかけられ黒板を見

に刻まれていると感じます。今回の同級会の記念事業として、参加費の中からと欠席者の方々からの協賛もいただいて、水高育英会に20万円の寄付をいたしました。これには私も水高育英会の役員としても大変ありがとうございました。進学となると費用がいるものですし、最近は授業料も国公立と私立の差が昔より少なくなっているようです。この寄付が生徒諸君の希望する先へ進め第一助になれば幸いです。

我々前後数年世代は生まれた時にベビーブームと言われ、小学校では一学年10クラス以上、その後の受験では狭き門の洗礼を受けてきました。堺屋太一氏に「団塊の世代」と名付けられ生産年齢時代には大いに先輩達の年金に貢献していました。今となつては社会保障費増大で懸念されている2025年問題の主役にされています。憂いていても仕方がない、うらをかえせば仲間が多い幸せを感じながら元気な後期高齢者になつてやろうと私は思つています。

今年も母校のモットーである「友愛・清新・気魄」は当時二年前位の先輩達から生徒会で話し合われてきて、我々が三年時の生徒総会で決定したように記憶しています。これも半世紀経ち伝統として続いている。我々がまさに水高の歴史

今年も母校の活躍を祈念しながら同窓生のみなさんもご健勝でお過ごしください。

皆様のご支援に感謝



校長 安藤泰彦

次に、本校の近況であります。生を迎えた。全校では、生徒7名であり、かつては1200名を超える生徒がいたことを思えば、少し寂しく感じるかもしれません。が、県内でも有数の大規模校せんが、県内でも有数の大規模校です。

昨年のこの稿で「今年の1年生の特徴は、男子96名に対し、女子148名とたいへん女子生徒が多くなっている点です。」と述べました。が、今年の1年生は、男子120名、女子124名とほぼ男女半々となり、例年並みとなっています。

例年と異なるのは、今年から社会への男女共同参画の視点から、48名とたいへん女子生徒が多くなっている点です。」と述べました。が、今年の1年生は、男子120名、女子124名とほぼ男女半々となり、例年並みとなっています。

えました。昭和52年に現在の校舎が落成し、その後同窓会の多大なご支援のもと、平成2年に80周年記念館「志学館」、平成12年にセミナーハウス「水龍館」、創立100周年の平成22年には多目的屋内運動場である「昇龍館」が完成し、教育環境の充実が図られました。この間約2万3千人の卒業生を送り出し、各界で幅広く活躍しております。特にも今年は、昭和42年卒の同窓生有志から水沢高等学校育英会に多大なご寄付をいただきました。後輩の奨学金に充てられるとともに、今後記念植樹が行われる予定です。

同窓生の皆様には、日頃から多大なご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。赴任以来、同窓生の皆様の母校に対する熱い思いに接し大変ありがとうございました。また、本校に勤務することの幸せを感じて参りました。そして、水沢高校で38年間の教員生活を終えることは、この上ない幸せなことだと感じております。微力ながら、生徒のため、学校のため、地域のために誠心誠意努めて参りました。同窓会長をはじめ、役員の皆様、そして同窓生の皆様には本当に感謝申し上げました。衷心より感謝申し上げます。

さて、本校は明治44年4月15日に創立され、今年106周年を迎

第45号

高 同 窓 会 報

平成29年2月 (2)

第45号

高 同 窓 会 報

(3) 平成29年2月 水 高 同 窓 会 報

理して制御可能にし、過去に折り合いを実を発見する、というよりも、リスクを整な事例として、成年後見制度や裁判員制度についてお話しいただきました。裁判は勝負をつけたり、正義を実現したり、真実を発見する、というよりも、リスクを整理して制御可能にし、過去に折り合いを



同窓会総会

今年度の総会は、8月11日(木)水沢グランドホテルで開催されました。総会81名、講演会101名、懇親会91名と、多くの同窓生の方々にお集まりいただきました。

14時からの総会では、長野同窓会長、安藤校長の挨拶の後、志学館の空調設備更新や加湿器・製氷機の寄贈など、平成27年度の事業報告並びに決算報告がなされました。また28年度事業案及び予算案についてご承認いただきました。

15時からは小野寺伸也氏(水沢高校第40回生)による「私たちの暮らしと裁判」と題して講演会が行われました。小野寺氏は東京地方裁判所商事部で、裁判長として商事訴訟等の裁判に携わっていらっしゃいます。裁判官という普段なじみのない話題を、非常に明瞭に興味深くお話し下さいました。裁判官という職業や裁判所について、また私たちにとって身近な事例として、成年後見制度や裁判員制度についてお話しいただきました。裁判は勝負をつけたり、正義を実現したり、真実を発見する、というよりも、リスクを整

つけて前に進むためのものということです。そのため裁判官の方々は先入観にとらわれず、不都合な真実に目を背けず、合理的に一般化できるよう公正な判断を目指しているということです。出席した方々は小野寺様のお人柄と、職業にかける熱意と誇りに感服し、大変好評を博しました。

17時からの懇親会でも、小野寺氏の同級生の方々が大勢駆けつけられ、旧交を温め、親睦を深めることができました。来年度も、多くの同窓生の皆様のご参加をお待ちしております。

仙台支部総会

宮城の食材を楽しむ昼食会・仙台支部総会が11月6日、長野耕定同窓会会長、安藤泰彦校長先生、榎原事務局次長をお迎え、宮城野区内のホテルで開催されました。

日曜日のお昼の時間での開催は3年連続になりましたが、42人(4割が女性)の参加がありました。

今年は役員の改選期。齊藤健会長から「若い方々の力で今後の仙台支部を盛り上げて欲しい」との提案があり、新たに会長に村上栄一さん(48年卒)、幹事長に佐々木伸(48年卒)、幹事長に佐藤孝年さん(51年卒)、幹事に片岡和義さん(50年卒)、小澤勇次郎さん(63年卒)が選任。また、これまでの会計監事、幹事の皆様は一部役職変更をして、引き続き役員に選任、齊藤健会長(34年卒)、高橋隆志副会長(33年卒)は顧問として選任されました。また、副会長に女性参加の提案があり、会場で協力要請を行った結果、川崎晴子さん(57年卒)、伊藤さやかさん(59年卒)の二人が協力して担当することになりました。

昼食会では、参加者全員が近況、母校への思いを語ってくれました。「仙

台は少し遠いし、同級生が来るかわからず不安だった。でも、校長先生のお話、皆さんの母校への思いを共有でき、来て良かった」と語ったのは、登米市から初めて参加された小野寺尚樹、幸枝ご夫妻(ともに51年卒)。

さらに、昨年の逍遙歌への証言をもとに出版された「逍遙歌・奥州と信州の知られる絆」の紹介とともに、逍遙歌の原曲である旧制松本高校寮歌「春寂寥」の弦楽四重奏(CD)が会場に響き渡りました。

最後はみんなで逍遙歌、校歌を歌い、記念撮影、さらには高橋隆志副会長が一本で締めました。とても和やかな昼食会でした。(佐々木伸・48年卒)



部活動ではウエイトリフティング部、卓球部をはじめとして、多くの運動部の活躍が見られました。また高文連等での書道部、文芸詩部をはじめとする文化部の活躍も瞠目すべきものがあります。結果は別ページに掲載の通りです。

現在県内には78の高等学校があり、ベスト4、ベスト8に入るだけでも至難の業です。そのような状況で、各部とも健闘しているものと考えます。特に同窓会からは、東北大会、全国大会出場のクラブへの激励金をいただいており、大いに部活動強化の支援となっています。

我々学校教員の目標は、生徒の健全育成と、生徒達が充実した高校生活を送れるよう、また進路目指が達成されるよう、教育活動を実践していくことであります。そのためにも今後とも、同窓会のご理解とご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、今年から選挙権年齢が18歳に引き下げられましたので、一部の3年生は昨年7月の参議院選で初めて投票権を得ました。今後、高等学校においても今まで以上に踏み込んだ主権者教育、公職選挙法についての学習が必要になります。

例年と異なるのは、今年から社会への男女共同参画の視点から、男女混合名簿としたことであります。応援歌練習などの一部行事を除いては、男女が50音順に混じり合う形で整列します。

また、今年から選挙権年齢が18歳に引き下げられましたので、一部の3年生は昨年7月の参議院選で初めて投票権を得ました。今後、高等学校においても今まで以上に踏み込んだ主権者教育、公職選挙法についての学習が必要になります。

盛岡支部総会

盛岡支部総会は、7月6日(水)サンセール盛岡にて開催しました。

本部から長野会長・川嶋前副会長、学校から安藤校長・片岡副校長・谷木同窓会事務局長に御出席頂き、26名の参加者で開催致しました。

総会前の講演会は、昭和40年卒業の長野隆行氏(盛岡ながの脳神経・歯科クリニック院長)に、「認知症の症状と予防」と題して御講演いただきました。長寿社会の中、如何にして健康で自立した生活を過ごせるかが課題であり、参加者も高齢化が進んでいることから、時宜を得た講演でありました。

総会の挨拶では、大内支部長から「水沢高校は文武両道、同窓生も全国各地・海外で活躍をしている。その中で、県庁所在地である盛岡でも各分野で活躍しており、今後盛岡支部総会に多数参加され交流を深めていただきたい」と挨拶がありました。

総会後の懇親会では、昭和26年卒業の富山才子様から乾杯の発声を頂き戴し、昭和48年卒業の平野達男議員を始め、全員から近況報告等を頂きました。最後は、昭和61年卒業の佐

藤邦彦氏のタクトにより、全員で校歌を齊唱しました。

最後になりますが、昨年の同窓会報に及川副支部長から、小生に同窓会の参加者集めに期待するとのコメントがありました。小生の力不足と水曜日という日程のせいか例年を下回る参加者となりました。今後、本部の総会を参考にさせて頂きながら、支部活動の活性化に向けた準備を進めたいと思っておりますので、盛岡市内及び近郊の皆様におかれましては、7月第一金曜日付近の日程を調整していただきたいと存じます。

(盛岡支部事務局長 佐藤秀公 昭和54年卒)



平成28年度 水沢高等学校同窓会盛岡支部総会・懇親会 平成28年7月6日 サンセール盛岡

現役生の活躍

地震に強い建物を追求

水沢高の理数科2年生3人 東日本大震災がきっかけ 県研究発表で最優秀

井上智也(左)、伊藤千鶴(右)、伊藤千鶴(左)

井上智也(左)、伊藤千鶴(右)、伊藤千鶴(左)

佐藤(水)高校63キロ級V

重量挙げの結果、佐藤は、男子50kg級で優勝、女子200kg級で2位となり、水沢高校が団体優勝となりました。

胆江日日新聞 平成28年6月23日

卓女子団体 水沢が初優勝

卓球女子団体で水沢が初優勝となりました。

胆江日日新聞 平成28年11月10日付

水沢女子が記録ラッシュ

水沢女子が記録ラッシュとなりました。

胆江日日新聞 平成28年6月18日付

男子53キロ級は田中館(水)優勝

重量挙げで田中館(水)が優勝となりました。

胆江日日新聞 平成28年6月18日付



胆江日日新聞
平成28年3月25日付



菊池 優希(高56回:平成16年卒)
岩手日報 平成28年9月28日付

高橋 杏奈(高60回・平成20年卒)
胆江日日新聞 平成29年1月3日付



本村 美沙(高67回・平成27年卒)
江日日新聞 平成28年7月14日付



45 号 水高同窓会報

'16 クローズアップ

1月末日までに岩手日報や胆江日日新聞に掲載された記事を集めております。他紙のものやチェック漏れ掲載できなかったものについてはご容赦下さい。



色病院
及ぼす
平野
狂體化
の原因
は、主に「心の病」の
精神作用によるもの
である。心の問題がまし
よう。
水曜日追載(中)
千葉 雅之(高38回・昭和61年卒)



平成29年度 岩手県立水沢高等学校同窓会総会

日時 平成29年8月11日(金)

場所 水沢グランドホテル
水沢区東町40 TEL 0197-25-8311

問い合わせ先 水沢高校同窓会事務局
TEL 0197-24-3152

※詳細は、ホームページに6月頃掲載しますので、ご覧下さい。
URL <http://www.imizuko.com>

水高育英会へのご寄付ありがとうございました

今年度、水高育英会へのご寄付は28名の方より総額89万3千円のご寄付を頂戴いたしました。これまで多くの進学する卒業生を支えてきております。今後ともご協力をお願いします。

水高育英会寄付者(平成29年2月17日確認分・個人の方は五十音順・敬称略)

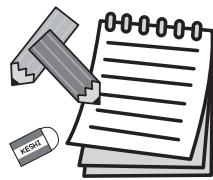
| | | | | |
|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 雨 笠 祥 子 | 小野寺 清 哉 | 木 村 恵 也 | 高 橋 寛 | 山 根 明 穂 |
| 伊 藤 康 道 | 小野寺 武 夫 | 今 野 晓 | 千 葉 龍二郎 | 芳 泽 茜 子 |
| 市 川 公 太 | 小 原 伝 | 佐々木 熱 | 中 田 佑 | 渡 辺 主 喜 |
| 及 川 修 | 鎌 田 真之助 | 佐 藤 牧 人 | 羽 岡 洋 輔 | 水沢高校第19回生 |
| 及 川 征 一 | 菊 地 利 恵 | 佐 藤 義 喜 | 前 田 正 子 | |
| 小野田 義 人 | 菊 地 吉 彦 | 鈴 木 靖 子 | 村 上 倍 達 | |

同窓生の著書(図書館寄贈分)

平成28年度末現在

| 著 者 | 書 名 | 卒 業 年 |
|-----------|----------------------|-------|
| 沢 村 柳 子 | 『きらめき巡る 冬の星座』 | 昭和42年 |
| 工藤 一博(共著) | 『家づくりから始める地球に優しい暮らし』 | 昭和45年 |
| 佐々木 伸 | 『逍遙歌 奥州と信州の知られざる絆』 | 昭和48年 |

国体に限らず、生徒たちは今年度もがんばっております。部活動、SSHの活動、進路目標など結果を出してあります。今まで同様同窓会の皆様の一層のご支援、ご声援をよろしくお願いいたします。



編集後記

詳しく述べては水沢高校ホームページをご覧いただくか、事務室までお問い合わせ下さい。

◇事務室からのお知らせ◇